



校訓「共創」

学校教育目標 [いのち輝かせ 未来を創る 港っ子の育成]



港っ子

豊岡市立港小学校
令和5年10月19日
文責 岩崎ひとみ

令和5年度全国学力学習状況調査の結果

本年度の全国学力学習状況調査の結果が公表されました。

本年度の本校児童の正答率は全国平均と比べ、国語は「努力が必要」、算数は「上回っている」という結果でした。今年度の課題と改善の方向性について、校内で分析しましたので報告します。

調査項目	課題や更に高めていきたい点	改善の方向性
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる 日常よく使われる敬語の理解 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する 	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで書き切る経験を積み上げる。 書き出し、キーワード、文章の構成など、書く活動の充実を図る。 複数の情報から必要な情報を選んで文章にまとめる学習活動を大切にする。 小学校で扱う謙譲語を確実に覚えさせ、生活の中で使用し、意識化させる。 反復練習で定着させる。(主語—述語、修飾語)
算数	<ul style="list-style-type: none"> 百分率で表わされた割合についての理解 正三角形の意味、性質の理解 高さの等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する 	<ul style="list-style-type: none"> 活用問題の意図をおさえる。 図やグラフと関連付け、実体験と結びつけ考える場面を増やす。 仮説を立てて考える問題を練習する。 正答を出すだけでなく、仕方や方法を考えることをめあてにする。

質問紙については、「地域の行事に参加している」「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、文章のよさを見つけている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている」は高い回答率でした。一方、「読書は好きですか」「家庭学習」はプラス回答率が低かったです。児童の読書力・読解力を高めるためにも、今後とも「本が好き」「本を読むことが楽しい」という意欲を育てていきたいと思いをします。

(参考) 令和5年度 読書活動に関する港小学校の取組

- ① 図書計画的購入 蔵書率の向上 → 市費・港校教育振興基金
- ② 図書室環境整備、図書バーコード化 → 図書ボランティア様にお力をお借りしました。児童も操作が上手になりました。
- ③ 図書委員会 → 「おすすめの本」図書の紹介を掲示、本のクイズ等で、啓発活動を行っています。
- ④ 朝の斉読書、各学級の読書タイム(1・2年)、自由閲覧(昼休み等)
- ⑤ 学級文庫(国語の教科書で紹介されている本) → 図書室や市立図書館からお借りしていつでも読めるようにしています。
- ⑥ 家庭読書 → 「23日 家庭読書の日」(青少年健全育成会議 港中学校区連絡会 事業)を推進し、港学校園としても励行しています。
- ⑦ 豊岡市立図書館との連携 → 団体貸し出し(1か月40冊まで)おはなしキャラバン、ブックトーク
- ⑧ 図書ボランティアさんの定期的な読み聞かせ → 心の落ち着きタイムとなっており、児童も楽しみにしています。ありがとうございます。
- ⑨ 教師による読み聞かせ(わくわくお話会)
- ⑩ 校内読書奨励賞
- ⑪ こつこつ読書

今後も、児童の「確かな学力」育成のため、全教職員が協働して教育活動を進めていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします！

【演劇ワークショップ参観ありがとうございました】

10月3日（火）1年生演劇ワークショップが行われました。1年生の保護者の参観がありました。お忙しい中ご覧頂き、ありがとうございました。1年生保護者アンケートの中から紹介させていただきます。

- ・参観するまでは、どんな授業なのか分かりませんでした。子どもたち同士で役割や表現の仕方など相談し合ったりする姿や、大人が想像しないような表現をしたりして、コミュニケーションのとりかたが楽しく学べるなあと思いました。
- ・グループわけをして、その子の特性を生かして、課題を楽しく協力して行っていたと思います。お友達の動きをみんながしっかりと見ることができていました。1人1人を思いやり、助け合い、協力して1つのことをやり遂げる姿を学んでいると思いました。そんな授業の1コマを参観できて有難うございました。
- ・子どもたちが自由にのびのびと表現できていたように思います。また、それをいろんな方向から、アドバイスしたり褒めたりしてくださった講師の方々にも感心してしまいました。😊とてもよかったです。
- ・毎回、演劇ワークショップの授業がある時には、楽しかったと言って帰ってきます。大人のお姉さんたちと交流を持てるのが刺激になり、楽しいみたいです。
- ・参観に行けなかったけれど、何をしたら聞いたら再現して教えてくれました。楽しかったと言っていたので、よかったです。
- ・スムーズに進まないこともあったが、それを含めて勉強になっていたと思います。
- ・初めてワークショップを見させていただきました。1年生の子どもたちが、グループになり、一生懸命考えとても上手に発表をしていました。
- ・皆がのびのび表現しているのを見られてよかったです。
- ・本人にどんなだった？感想を聞いてもあまり答えてくれず「忘れた」でしたが、楽しかった！！と言っていたので何かの学びになっているのではと思っています。
- ・来てくださった講師の方々が「さすがプロ」といった感じで、子どもたちも五感でそれを感じ取ったのか、とてもイキイキと楽しんでいて、総じてよかったなあという感想でした。欲を言えば、大人の方の口から、このワークショップで子ども達に何を感じて学習したり伸ばそうとしたりしているのか、めあての様なものを教えてもらえると、よくわかるに○できるかな？と思いました。
- ・子どもたち同士で、子どもたちの考えた表現を生で見させていただき、驚きや感動、考えさせられるものがありました。また、このような機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

学校の様子をお子さんに尋ねてみてくださることは、大変よいことだと思います。1年生の頃は、うまく説明できないかもしれませんが、対話を通じて、どんどん上達していかれると思います。対話を続けることで、お子さんの説明する力が養われていきます。今、学校では、ペアやグループで説明し合う協働的な学びの活動、話し合う活動を、どの教科の授業でも取り入れています。児童には、様々な場面で、自分の考えを自信をもって表現できる人になってほしいと願っています。

豊岡市では、このワークショップを市内全ての小学校1年生で行っています。「体や声、言葉を使った演劇的な表現活動を行い、自分の考えや気持ちを表に出したり、受け入れてもらったりする体験を通して、「自分は大切な存在なんだ」「自分は役に立っている」という思いを高めることをねらいに行っています。アンケートでは、演劇ワークショップのことを、あまり分からないと回答された方がおられました。

他校ですが、YOU-TUBEで演劇ワークショップの様子が配信されています。

「豊岡市演劇ワークショップ」で検索して、どうぞご覧ください。どのような内容か、雰囲気伝わるとと思います。3学期に3回目のワークショップがありますので、また、参観のご案内ができればと思っています。

